

USPTO 長官ラスベガスで「競争力イニシアティブ」を強調

2006年2月6日
JETRO NY 澤井、中山

2月2日、先の大統領一般教書演説のフォローアップと位置づけられた (as follow-up to President's State of the Union address)、デュダスUSPTO長官による講演会がラスベガスで開催された。

USPTOプレスリリースによると、同長官はネバダ州の知的財産や経済成長が米国及び世界経済に貢献していることを称賛しつつ、大統領が一般教書演説において提唱した「アメリカ競争力イニシアティブ (American Competitiveness Initiative: ACI)」¹を強調するにあたり、将来の米国経済においては地方の役割が重要であることを説明した。

なお、同プレスリリースによると、ネバダ州は過去 10 年間で特許取得件数が倍増しスタートアップ企業数では米国 1 位、ネバダ - ラスベガス大学 (UNLV) では授業と研究を統合した科学、工学、技術の複合施設の建設を予定、また、次世代の発明者育成のために発明の創意工夫を養う夏期教育プログラム「Camp Invention」を同地にて USPTO のスポンサーの下で実施しているとのこと。

こうしたネバダにおける取り組みに対し、USPTO 長官は「大統領の競争力イニシアティブは、研究に対する新たな連邦資金や税制、数学及び科学教育の強化を通じてイノベーションを促すものであり、かかる競争力イニシアティブはネバダが既に実施していることを強化する」とした。

< USPTO プレスリリース >

<http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/06-08.htm>

(了)

¹ 2006年2月1日付け知財ニュース「米大統領一般教書演説、『競争力イニシアティブ』を提唱」を参照。